

スズキ、マレーシア企業と二輪車生産用部品の供給契約を締結



スズキ株式会社(以下「スズキ」)は9月15日、マレーシア企業の KMSB Motors Sdn. Bhd(所在地:クアラルンプール、以下「KMSB」)と、二輪車生産用部品の供給契約を締結しました。同日マレーシア首相官邸で行われた契約締結式には、アンワル首相がご臨席され、KMSB のヤハヤ社長、スズキの鈴木社長が出席しました。

KMSB は、スズキブランドの二輪車をマレーシアで生産販売しているスズキマレーシア社の親会社である AFY Mobility Industries Sdn. Bhd のグループ企業です。今後 KMSB は独自の二輪ブランド「AFAZ」を立ち上げる計画です。

スズキは、「AFAZ」ブランドの 110cc～150cc 機種用のエンジンや車体関連部品を、2024 年前半より順次供給する予定です。供給部品は、スズキの東南アジアの工場生産されます。

鈴木社長は式典で、「スズキは二輪車の販売に加え、KMSB への部品供給を通じて、マレーシアの二輪車市場と産業の発展に貢献してまいります。」と述べました。

以上